

## 令和3年第1回倉吉警察署協議会開催状況

開催日時	令和3年2月26日(金)午後2時から午後3時10分までの間	
開催場所	倉吉警察署3階 大会議室	
出席者	委員 (定数11人)	戸羽会長、市橋副会長、進木委員、清水委員、布廣委員、 稲嶋委員、室山委員 以上7人
	警察	前田署長、岩本副署長、辻本警務課長、西原生活安全課長、 伊藤地域課長、永田刑事課長、安達交通課長、 警務課員2人 以上9人
議 事 概 要		
<p><b>1 挨拶</b></p> <p>(1) <b>戸羽会長</b> 新型コロナウイルス感染症の影響により行事等の自粛が多いなか、警察署協議会も1年ぶりの開催となった。今回は委員の参加人数も少ないが、よろしく願います。</p> <p>(2) <b>前田警察署長</b> 昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で警察活動が制約された中ではあったが、できる範囲でしっかりと取り組んできた。 昨年の治安概況は各課長から説明があるが、刑法犯の認知件数、交通事故の発生件数及び死者数のいずれも減少している。一方で、県下の特殊詐欺の認知件数は増加したほか、交通死亡事故で17人の方がお亡くなりになっている。管内においても、今年に入ってから交通死亡事故や、特殊詐欺が発生しており、引き続き治安改善に取り組む必要がある。委員の皆様が警察の取組について普段の生活の中で感じていることなどがあれば、御意見等をお願いする。</p> <p><b>2 治安概況の説明</b> 警務課長は令和3年鳥取県警察運営指針及び重点目標について、生活安全課長は重点犯罪の認知状況、刑事課長は刑法犯の認知・検挙状況、交通課長は交通情勢について、それぞれ説明した。</p> <p><b>3 自由意見・質疑応答</b></p> <p>委員：今年に入ってから、県内において還付金詐欺は発生しているのか。 警察：残念ながら発生している。一般家庭に対するアポ電話も引き続き認知しているため、被害防止の対策を行っている。</p> <p>委員：街頭犯罪を犯す年齢層は若いのか。少年非行の件数が増加傾向にあることは、少年と学校や保護者との関わりに何らかの原因があると思うが、警察として学校等と連携はしているのか。 警察：年齢層にはばらつきがあり、一律で若年層が多く犯している訳ではない。非行少年の学職に応じて、学校や児童相談所等の関係機関と連携し対応している。また、継続補導の必要があれば、当署の少年警察補導員が対応している。</p> <p>委員：鳥取県で想定されるテロはどういったものがあるか。 警察：具体的な話はないが、今年は聖火リレーが開催されるため、聖火リレーを狙ったテロが想定される。また、人が多く集まるショッピングセンターであったり、空港などもあるので、各種対策を行っている。</p> <p>委員：交通事故の件数が減少しているのは、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を控える人が多かったためであるのか。 警察：影響はあったと思うが、昨年1年間のことであり、単純にそうとは言いきれない。</p> <p><b>4 その他</b> 次回の協議会は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、令和3年6月に開催する予定である。</p>		